



産業協力・企業間交流セミナー 続・カザフスタンを読み解く3つの視点 ～政治・経済・石油～

令和4年11月14日（月）
（一社）ロシアNIS貿易会（ROTOBO）

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、このたび当会では、経済産業省の助成を受け、掲題セミナーを2022年12月15日（木）に東京で、コロナ禍発生以降では初の対面方式にて開催致します。

中央アジアにおける日本の最大の貿易相手国であるカザフスタンでは本年1月、国内で大規模な抗議行動が勃発し、その結果、2019年の辞任後も隠然たる権力を行使してきたヌルスルタン・ナザルバエフ初代大統領とその一族が、政治経済の表舞台から放逐されました。続く2月末には同国にとって政経両面にわたる最重要のパートナー国の一つ、ロシアがウクライナ侵略を開始、日本を含む西側諸国による経済制裁が発動されました。

こうした状況を受け、当会は本年7月にカザフスタンの現状を政治、経済、および同国を支える石油産業という3つの視点から読み解くウェビナーを開催致しました。この、言わば速報版としての前回を受け、再び3つの視点から、幕を閉じようとする2022年のカザフスタンと激動する国際情勢を総括し、今後を展望するのが今回のセミナーの趣旨となります。

参加ご希望の方は、別紙1のプログラムをご確認のうえ**12月13日（火）まで**に下記参加登録フォームよりお申し込みください。議論を深めるため、同登録フォームにて各講師に向けた事前のご質問も承りますので、ご希望の方はご利用ください。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

記

- ◆日 時： 令和4年12月15日（木）14:00～16:30
- ◆会 場： ホテル・ニューオータニ「翠鳳の間」
 - ▶会場へお越しになれない方のために、Zoomによるオンライン配信も行います（ブラウザ上から参加できるためソフトをインストールする必要はありません）。
 - ご希望の方は申し込みフォームの所定の項目にチェックをお願いいたします。申し込み締め切り後、12月14日（水）に配信リンクをお送りします。
- ◆主 催： （一社）ロシアNIS貿易会（ROTOBO）
- ◆内 容： 別紙1参照 /◆言 語： 日露同時通訳 /◆参加費： 無料 /◆定 員： 60名
※対面式のセミナーへのお申し込みは定員になり次第、締め切らせていただきますのでご注意ください。
- ◆お申込み方法および締切：
12月13日（火）日本時間17:00までに、下記フォームよりお申し込みください。
※参加登録フォームリンク：https://jp-kz.org/entry/?post_id=4226
- ◆問合せ：（一社）ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所（担当：中馬、森、服部）
TEL:03-3551-6218 E-mail: central-asia@rotobo.or.jp

産業協力・企業間交流セミナー

続・カザフスタンを読み解く3つの視点 ～政治・経済・石油～

プログラム

2022年11月14日現在

時間	プログラム
13:30-14:00	開場
14:00-14:05	<ul style="list-style-type: none"> ■ モデレータ開会挨拶・インストラクション 輪島 実樹 (一社) ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 副所長兼調査部長
14:05-14:35	<ul style="list-style-type: none"> ■ 報告 ◆政治「ウクライナでの戦争～カザフスタンの地政学的リスク、課題、そして可能性」 D. サトパエフ Kazakhstan Risks Assessment Group 代表
14:35-14:55	<ul style="list-style-type: none"> ◆経済「カザフスタン経済～乱気流に見舞われた2022年と2023年の展望」 V. ドドノフ カザフスタン共和国大統領付属戦略研究所 (KISI) 主任研究員
14:55-15:25	<ul style="list-style-type: none"> ◆石油「新しい地政学的条件に対応するカザフスタンの石油・ガス戦略の行方」 O. チェルピンスキー 『Petroleum』誌 編集長
15:25-16:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講師3名とモデレータによるディスカッション／質疑応答
16:00-16:30	<ul style="list-style-type: none"> ■ 閉会／ネットワーキング (名刺交換会)

■□■ 報告者紹介 ■□■



ドシム・サトパエフ (Dossym SATPAYEV)

中央アジアおよびカスピ海地域の政治・経済リスク分析を専門とするカザフスタンの民間調査分析機関「Kazakhstan Risks Assessment Group」代表、政治学博士。TV・新聞等国内メディアに頻繁に登場し分析を披露、在野の論客として知られる。近著に『カスピ海資源ブームをめぐる課題：国内エリートとポリシー・メイキング』(2012)、『トワイライトゾーン：移行期の罫』(2013)、『カザフスタン：移行による試練』(2019)等。



ビャチェスラフ・ドドノフ (Vyacheslav DODONOV)

カザフスタン共和国大統領付属戦略研究所 (KISI) 主任研究員、経済学博士。国内外で250本を超える論文を発表、政府機関・企業体による多数の研究への参加実績、国際会議・フォーラムへの参加、報告経験をもつ。主な研究対象は株式市場、ポートフォリオ管理、世界経済、経済危機、国家経済規制、マクロ経済等。近著に『現在のグローバル・ファイナンスシステム構造におけるラストクライシス』(2014)、『日本の経済成長変化の財政的要因』(2017)等。



オレグ・チェルピンスキー (Oleg CZERWINSKI)

2000年にアルマトイで創刊したカザフスタン石油・ガス分野の代表的なビジネス専門誌『Petroleum』編集長。同国独立後初の石油・ガスメディア『カザフスタンの石油・ガス』誌の創設者兼編集長。カスピ海地域の石油・ガス問題の専門家として分析・論評を新聞等国内・海外メディアで発表。カザフスタン・ジャーナリスト連合メンバー、カザフスタン・ジャーナリズムアカデミー会員。近著に『カザフスタンの黒血：独立のオイル・ヒストリー』(2017)等。現在、ポーランド在住。